

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

| | |
|-------------------|--|
| 研究課題名 | 胃上部の早期胃癌に対する噴門側切除・食道残胃吻合の変遷 |
| 研究責任者 (所属科名) | 徳本憲昭(外科) |
| 本研究の目的・意義 | 胃上部の早期がん病変に対しては術後の胃の機能温存を目的に、噴門側胃切除がおこなわれます。ただし、煩雑で難しい手術のため、合併症発生率はいまだ高く、術後の機能温存、QOLの改善には十分とは言えないのが現状です。 |
| 調査方法・調査期間 | 後向きコホート研究です。調査実施期間は2011/1からで、Stage I 上部早期癌症例に対しておこないます。当院では2011年より、腹腔鏡下噴門側切除、食道残胃吻合法を導入し、2018年からは、保険適応となり、精緻に施行可能なロボット支援下へと変更しています。 研究期間：倫理委員会承認後～2022年6月末日 |
| 該当資料・データ | ★対象となる患者様 対象期間に上部早期胃癌症例に対し、噴門側胃切除手術を施行した、上記58名の患者を対象とします。 ★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。 |
| 個人情報の取り扱い | 利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。 |
| 共同研究機関 | なし |
| 本研究の資金源 (利益相反) | 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。 |
| お問い合わせ先 | 電話 082-815-5211(代) 外科 部長 加納幹浩 |
| 備考 | |